

一般財団法人しつもん財団主催 <全国7カ所、500校の学校の先生を無料招待>

## しつもん力研修「子どものやる気と能力を引き出す魔法の質問」

～発問力と質問力を授業に活かそう～

毎年続けておりますボランティア企画、全国の学校の先生、500校の方を無料でご招待し、質問力&発問力の研修を行う機会を、今年も全国7か所で開催します。<北海道、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡、沖縄>

参加費は【無料】です。費用はすべてしつもん財団から出したいと思っております。全国の学校（公立&私立）の先生、子どもたちに実際に問いかける「場」をお持ちの方であれば、どなたでも応募可能です。

### 主体的に、対話的に、深く学べる仕組みづくり

子どもたちがまるで魔法にかかったかのようにやる気や能力が引き出されていく、効果的なしつもん力。

そのためには、

- ・どのように環境を整えたらいいのか？
- ・どんな発問や質問をしたらいいのか？
- ・どのようにファシリテーションをしていけばいいのか？

ちょっとした表現やニュアンスの違いで、児童・生徒の理解度や動き方が大きく変わります。このしつもん力研修では、今日からすぐに実践できる授業づくりを、まさに魔法の質問によって身につけます。

授業の中や、学級経営、部活動、委員会などで

「こんな場面で、これをやってみよう！」が見つかり、生徒の主体性・多様性の受容・協働性を高めるツールを手に入れていただければと願っています。

### 必要なのは考える力

知識が無料で手に入る時代になりました。知識を提供するだけのサービスは終焉をむかえています。サービス業は生き残りをかけて、記憶の提供から付加価値をつける必要が生まれています。

多くの仕事は今後もっとロボットやコンピュータにとって代わられることになるでしょう。人間だからできることは何か。この時代に求められていることは何か。人は「生み出す」ということができます。課題を発見したり、チームを作ってお互いの力を合わせて成果を上げていったり、教育に求められるのは「記憶」だけではなく「考える力」です。考える力を養うためのワークやアクティビティを生み出すのは大きなエネルギーが必要です。

忙しい業務の中で、これを生み出すのは大変です。しかし、シンプルな方法があります。

知識を伝え、記憶したかを確認する授業から、アイデアを考へてもらう授業への変換に大きな力を発揮するのは「発問」です。先生が「質問力」と「発問力」を身につけることで、児童・生徒の目が輝きだし、自主的に動き出します。自ら考え、夢や目標を達成するために動き始めます。

考える力を身につけた子どもたちを1人でも多く育てるために、この研修を行います。



### <内容>

- ・やる気を引き出す効果的な問いかけとは
- ・しつもん力を高める10の心得
- ・効果的なしつものつくりかた
- ・現場に発問力を導入するには

<愛知会場> 8月16日(金) 10時~18時  
ウインクあいち 1101

参加費:0円 定員:先着100名

▶お申込フォーム: <https://bit.ly/32hi3ao>

### <講師プロフィール>

くればやしひろあき  
元公立中学校教諭

公立中で13年、文科省派遣教員として海外で3年、教員人生のほとんどを生徒指導に捧げた後、すべてのキャリアを捨てて独立。人間関係づくりの専門家として全国各地で講演や講座を行う。

寒川井誠(さがわいまこと)  
コンテンツ・クリエイティブ・ディレクター  
一般財団法人しつもん財団 評議員兼事務局長

カリキュラム開発の専門家。  
開発したカリキュラムを活用しているインストラクターは日本全国で3000人を超える。シンプルにわかりやすいカリキュラムの設計は、学校現場だけでなく、様々な業種の企業にも使われている。

しつもん財団  
SHITSUMON FOUNDATION

全国7カ所のご案内はホームページにてご案内しております

info@shitsumon.org <http://shitsumon.org>